

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第5回朝霞市オリンピック・パラリンピック競技大会支援部会 ボランティア部会	
開 催 日 時	平成31年4月23日(火) 午後1時00分から 午後2時20分まで	
開 催 場 所	朝霞市役所別館5階 501会議室	
出 席 者	委員（7人／9人） 秋元部会長、西田副部会長、古川委員、鷹野委員、新井委員、 合田委員の代理齋藤氏、細田委員、 （須田委員、佐藤委員欠席） 部会担当課（地域づくり支援課2人） 清水次長、石田主任 事務局（オリンピック・パラリンピック室3人） 堀川室長、石野室長補佐、臼倉係長	
会 議 内 容	議題 （1）大会概要・経緯・課題・スケジュール （2）平成30年度事業の実績及び平成31年度事業について （3）大会当日おもてなしの検討について （4）その他	
会 議 資 料	資料1-1、2-1、2-2、3-1、3-2、3-3、4-1、4-2、オリンピック・パラリンピックポロシャツ販売の御案内	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 事務局の決裁 委員全員による確認		
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴人 なし	

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

◎開会

○石田主任（部会庶務担当）

- ・配布資料の確認
- ・自己紹介

○秋元部会長

議事に入る前に、事務局は傍聴者を入場させてください。

○石野室長補佐（事務局）

傍聴者はいません。

○秋元部会長

それでは、次第に基づき会議を進めます。

議事の（１）「大会概要・経緯・課題・スケジュール」についてオリンピック・パラリンピック室より説明をお願いします。

議事（１）

○堀川室長（事務局）

それでは、議事（１）について説明します。

資料１－１をご覧ください。

これまで確認できている大会の概要と経緯について、また、今後、皆さんのご協力のもと、取組んでいく課題とスケジュールについて整理したものです。

それでは、１ページ目１の大会概要です。

大会期間、競技数については資料のとおりで、これまでのオリンピック・パラリンピックの競技数でいずれも最多の競技、種目数となっています。

射撃競技期間は、オリンピックは、当初は８月２日まででしたが、１日伸びて３日までとなり、パラリンピックは、当初は８月２６日から９月２日まででしたが、８月３１日から９月６日までと変更されております。

先日発表された競技スケジュールでは、一番初めのメダルの確定が射撃女子の１０メートルエアライフルになると報道されております。

また、射撃の座席数はライフル、クレー合わせて７，６００席となっておりますが、６，８００席に変更されております。

次に、２の経緯です。

７月の１枠目、聖火リレーの概要が発表されました。本市は、射撃の関係市である新

座市、和光市と連携し、3市が繋がるルートを県に提案しており、会場市であることを考慮すると、聖火リレー誘致の可能性は高いと考えられます。

また、射撃は県内唯一のパラリンピック競技であることから、パラリンピック聖火リレーの誘致も可能性が高いと考えております。

次に、平成31年1月には、射撃会場の工事が始まっています。

次に、3月の2行目、商工会と朝霞駅周辺3商店街にご協力いただき、オリンピック・パラリンピックフラッグを設置し、また、朝霞駅南口のカウントダウンカレンダーの上の柱に射撃のラッピングをしました。

これは、昨年実施した市民懇談会で朝霞が射撃の会場とわかる演出をして欲しいという市民からのアイデアを支援部会で採用し実現したものです。

一番下の大会開催500日前イベントですが、黒目川花まつりと同時開催し産業文化センターでクレー射撃・ビームライフルの体験会を行い、6000人ほどの来場となりました。

次に、2ページ、3の課題です。①、②はボランティアに関すること、③は聖火リレーの受け入れについて、④は大会当日来訪者に対するおもてなしです。

今後の実行委員会、支援部会の協力を経て決定していきます。

次に、4のスケジュールですが、現在考えられるスケジュール以外にも、大会組織委員会などから新たな課題、情報が入ってくると思いますので、皆様に協力をいただきながら、準備をしていきたいと考えてます。

次に、3ページをご覧ください。大会組織委員会が正式に、朝霞駅から射撃会場までのシャトルバスルートを発表しております。黄色の線が、シャトルバスのルートで、会場までは、観音通線を通り国道まで抜けるルートとなっておりますが、帰りのルートは県道東京朝霞線の渋滞を避けるため国道を渡り旧道を右折するルートとなっております。なお、青い線は、徒歩ルートとしておりますが、こちらは、本市が考えるルートで、大会組織委員会が認める公式なルートとはなっておりません。徒歩ルートについては、今後、ルート上で実施する具体的なおもてなしについて、実行委員会及び支援部会で、検討していきます。

説明は以上です。

○秋元部会長

ただ今、事務局から説明がありましたので、委員の皆様にご意見、質問をお伺いします。

聖火リレーはオリンピック、パラリンピック両方でしょうか。

○堀川室長（事務局）

オリンピックが埼玉県は7月7日～9日で朝霞市がそのうちの1日誘致できればと考えてます。また、パラリンピックは8月13日～25日で埼玉県

は、そのうち1日となっており、本市が提出したルートはオリンピックとは別のルートを提案しています。

○秋元部会長

他にありますか。

なければ議事の(2)「平成30年度オリンピック・パラリンピック関連事業の実績について」オリンピック・パラリンピック室より説明をお願いします。

○臼倉係長(事務局)

議事2は、報告事項になります。ご意見などあれば、31年度事業は事業を進めるにあたり参考とさせていただきますので、よろしくをお願いします。

資料2-1、2-2をご覧ください。

これらの資料は、平成30年度オリパラ関連事業の実績について報告する資料になります。事業の実施に際しては、オリンピック・パラリンピックの機運醸成のため、支援実行委員会、関係団体、市民のご協力をいただきながら実施しました。

資料2-1について、1ページ上から2番目、朝霞市作戦会議を4月に実施しました。これは市民の皆さんに、オリンピック・パラリンピックに向けて意見をいただいたものです。これらの意見は、昨年7月に本支援実行委員会でもとめた支援計画、そしてオリパラ関連事業に反映しています。

続いて、3ページをご覧ください。

一番上、川越藩火縄銃・オリンピック2年前イベントを7月に開催しました。

朝霞ロータリークラブからカウントダウンカレンダーのお披露目を行ったほか、元スピードスケート選手の岡崎朋美さんに講演をしていただきました。

4ページです。上から2番目、彩夏祭でオリンピックコーナーを実施しました。自衛隊体育学校の資料を展示したほか、作戦会議のアイデアであった射撃とお祭りにちなんで「射的」を行い、大変好評でした。

8月にパラリンピック2年前イベントを開催しました。

6ページ、1番下、朝霞市文化・スポーツ振興公社の主催により、オリンピックに学ぼう！小学生スポーツ教室を実施しました。

7ページ、一番下、500日前イベントを開催しました。射撃の体験コーナーなどを行い、多くの方に来場していただきました。

続いて、資料2-2ですが、この1年間で実施し新聞各紙に取り上げられた記事の一部をまとめたものです。

平成30年度の実績に関する説明は以上です。

続きまして、平成31年度の事業を説明します。

資料3-1、3-2、3-3をご覧ください。

今年度は、2020年まで残り1年となることから、大会の機運を盛り上げていくとともに、大会準備の本格化の1年と位置付けています。

資料3-1は、オリパラ関連事業のソフト事業の一覧で、支援実行委員会の各部会ごとにまとめて作成しています。

資料3-2はハード事業の一覧です。昨年11月、輸送・多言語対応部会を中心に、障害者団体にご協力いただき、朝霞駅から会場までのルートのバリアフリー点検を実施し、そこで出されたご意見を踏まえ、検討した事業になります。

それでは、ボランティア部会の説明について部会庶務担当から行います。

○石田主任（部会庶務担当）

ボランティア部会の今年度の取り組みについて説明します。

資料3-1、4ページをご覧ください。

33番ですが、埼玉県で募集し決定した都市ボランティアに対して、射撃の競技会場に係る都市ボランティアの支部事務局として、ボランティアの実地研修、体験プログラムの運営などに取り組む予定です。

次に、34番の地元ボランティア事業については、市民の皆様がオリンピック・パラリンピックに様々な形で参加していただき、市民が一体となりオリンピック・パラリンピックを盛り上げることが必要であると考えます。

このことから、機運醸成・文化教育部会、環境美化部会や輸送・多言語対応部会で、どのようなおもてなしを行うかを検討していただき、そのために必要な地元ボランティアの募集などを検討する予定です。

説明は以上です。

○臼倉係長（事務局）

他の支援部会の状況について簡単に説明します。

資料3-1の1ページをご覧ください。

まず、機運醸成・文化教育部会ですが、2番のオリンピック1年前イベントを7月に、3番のパラリンピック1年前イベントを8月に開催します。

4番の射撃の漫画を広報あさかの裏表紙に奇数月に掲載しています。

2ページ11番、12番、小中学校を対象に授業を展開していく予定です。

4ページ32番、商店会連携フラッグおもてなし事業を市内全商店会に設置したいと考えています。

続いて、環境・美化部会ですが、35番、ゴミ捨て場の多言語表示、36番、大会当日の暑さ対策のために、打ち水イベントを今年度はテストイベントとして実施する予定です。

最後に、輸送・多言語対応部会ですが、5ページ37番、観光情報マップを発行予定です。38番、39番バリアフリーに関する補助金交付事業とな

っています。

資料３－２ですが、昨年バリアフリー点検を行った結果を基に取り組む事業となります。

資料３－３ですが（１）オリンピック１年前イベントについて説明します。７月１３日（土）・１４日（日）に総合体育館で全日本ライフル射撃競技選手権大会（ビームライフル・ビームピストル）を開催することとなり、大会開催と同時にサブアリーナでは体験イベントやPRブースなど様々なイベントを実施したいと考えています。また、総合体育館玄関前では朝霞市商工会に会に協力をいただき物販、飲食販売のイベントを実施したいと考えています。さらに、現在調整中ですが、復興五輪の観点から復興支援ブースを実施できればと考えています。

また、７月１３日（土）夕方に陸上競技場石畳で打ち水イベントと川越藩火縄銃鉄砲隊による火縄銃発砲演武を予定しています。

（２）パラリンピック１年前イベントですが、８月２４日（土）市民会館で埼玉県が主催する「人権啓発フェスティバルヒューマンフェスタ２０１９ in朝霞」が開催されます。同時にリハーサル室でボッチャ体験等のイベントやホワイエでオリンピック・パラリンピックに関する展示、啓発等を行う予定です。

議事２の説明は以上です。

○堀川室長（事務局）

資料３－１、１３番吹奏楽・器楽フェスティバルですが本市で射撃競技が開催されることを記念して、朝霞西高校の先生にオリジナル曲の制作を依頼し、１年前イベントで発表する予定です。

○秋元部会長

ただ今、説明がありましたが、委員の皆様にご意見、質問をお伺いします。

○合田委員の代理齋藤氏

資料３－２の１番、朝霞駅南口案内板の多言語対応改修の多言語とはどの程度を考えていますか。

○白倉係長（事務局）

道路案内標識及び地点名標識は規制があり日本語と英語、さらに駅等の場合にピクトグラムの表記になります。

○合田委員の代理齋藤氏

英語が読めない国の方もいるので、多言語で表記されたらと希望します。

○臼倉係長（事務局）

朝霞駅南口案内板の多言語対応はスペースの関係もあり、日本語と英語の表記で、QRコードを設置し多言語対応できるよう考えています。

○堀川室長（事務局）

今後、公共施設の多言語表記をA. I. Sさんにもご協力いただき進めていければと考えています。

○秋元部会長

他にありますか。

なければ議事（3）「大会当日おもてなしの検討について」オリンピック・パラリンピック室より説明をお願いします。

○臼倉係長（事務局）

それでは、議事（3）について説明します。

資料4-1をご覧ください。

大会期間中に市としてどの様なおもてなしができるかを、支援部会で考えていくのですが、具体的な期間・時間・場所・内容については、機運醸成・文化教育部会が機運醸成のイベントを考え、環境・美化部会では暑さ対策についての取り組みを検討していくこととなります。

2ページ目、地元ボランティアの検討ですが、機運醸成・文化教育部会や環境・美化部会で実施するイベントに必要な地元ボランティアについてボランティア部会で募集をしていくこととなります。また、スケジュール（案）ですが、大会当日に向かって募集開始時期を考えるとこの様なスケジュールになると事務局で示したものです。

資料4-2をご覧ください。

埼玉県が募集した都市ボランティアについて、大会当日に道案内などをするボランティアとなります。研修等は埼玉県が実施しますが、受け入れる朝霞市としては、ボランティアの事前体験を実施できるか検討していきます。事前ボランティア体験の目的は、活動する地域のことを知る機会とするとともに、大会当日の活動に繋がると考えます。一方、運営側の市としてはボランティアを受け入れる事前テストの位置付けがあります。事務局ではオリンピック・パラリンピック1年前イベントや彩夏祭を想定しています。彩夏祭は朝霞市民まつり実行委員会が実施しているので、今後、調整を行っていきます。実施内容は会場案内や暑さ対策の打ち水などを考えています。

議事3の説明は以上です。

○秋元部会長

説明が終わりました。

ボランティア部会の役割について説明がありました。

機運醸成・文化教育部会と環境・美化部会で大会期間中のおもてなしを検討し、そのおもてなしイベントなどに必要な地元ボランティアについて、ボランティア部会では募集方法などについて検討するとのことでした。

そのほか、スケジュールなどの説明がありましたが、地元ボランティアの募集などについて、ご意見ございますか。

○新井委員

市民参画推進を担当しているのですが、地元ボランティアやおもてなしの内容、募集等について、時間がないなか難しいでしょうが、市民懇談会を開催したり、市民懇談会で情報を提供したりすることはいかがでしょうか。

○堀川室長（事務局）

昨年実施したような市民懇談会を開催することは時間的にも難しいと考えます。地元ボランティアの考え方ですが、都市ボランティアは大会時に18歳以上となりますが、地元ボランティアは小・中・高校生に当日の活動だけでなく事前の準備や制作品の作製などで参加できるように考えています。

各部会から挙げられた事業を、どの団体に協力いただくか、意見をいただきながら検討したいと思います。

○新井委員

色々なアイデアが生まれたり、宣伝効果もあると思うので、可能であれば実施していただければと思います。

○鷹野委員

おもてなしの内容として検討されていくと思うが、以前より子供の絵の提案をしているので、実施に向けて検討していただきたい。

○堀川室長（事務局）

平成28年におもてなしのアイデアとして提案いただいております。大使館等との調整もあるようですが実施に向けて進めたいと考えています。

○秋元部会長

新井委員の市民参画の提案ですが、資料3-3の1年前イベントなど多くの方が集まる場所でブースを設けて、色々な意見を聞いてはどうか。

○堀川室長（事務局）

検討します。どのような形で参加したいかなどアンケートを実施することも検討します。

○秋元部会長

資料４－１の２ページ、地元ボランティアのスケジュール（案）についてご意見はありますか。

○合田委員の代理齋藤氏

地元ボランティアは何人募集予定ですか。

○臼倉係長（事務局）

人数は各部会で計画した事業により必要人数が決まるので、現段階では決まっていません。

○秋元部会長

競技期間が長いので、ボランティアの活動日数が短期の方と長期の方と様々な希望があると思います。今後、各部会で計画された事業によって必要人数等、ボランティア部会でも想定して人数を検討するようになると思います。

○堀川室長（事務局）

資料４－１、パラリンピックライブサイト開催とありますが、目玉のイベントとなっており、パラリンピック競技大会開催期間中、総合体育館でパラリンピックのライブサイトが開催され、競技の映像を放映する予定です。このイベントにも都市ボランティア、地元ボランティアに活動していただければと考えています。

○秋元部会長

何か地元ボランティアに記念になる物などをあげる予定はありますか。

○堀川室長（事務局）

大会ボランティアと都市ボランティアは衣装一式が支給されます。地元ボランティアには活動日数によって何か差しあげられたらと考えています。今後、ボランティア部会で検討する内容となります。

○秋元部会長

ボランティアで参画したいという方は、対価を求めている訳ではないでしょうが、記念として何かあればいいかなと思います。

○新井委員

何か記念に残る物を差しあげるにしてもお金がかかるので、例えば市内の企業等から寄付を募ることは、問題はないか。

○堀川室長（事務局）

大会パートナー企業からの寄付であれば、社名を表記することはできます。今回PRフラッグを設置しましたが、寄付をいただいたことをお知らせすることはできます。

○秋元部会長

ボランティアとして参加はできないが、金銭の援助をしたいという方もボランティアになるかと思うので、そういった形で参加をいただいて、ボランティアの方に記念に残る何かをあげられたらと思います。

○清水次長（部会庶務）

産業振興課の時に商工会との付き合いもあり、花まつりや商工まつりなど様々なイベントを実施しており、地元貢献したいといった志のある企業が集まっていますから、何かしらの呼びかけは出来るかと思います。

○秋元部会長

地元ボランティアの検討のスケジュール（案）については、今後このスケジュールに沿って進めていければと思いますがいかがでしょうか。

都市ボランティアは1,700人ぐらい配置される予定となっていますが、事前体験は朝霞市のイベントだけでなく、和光市など他市のイベントでの体験でもいいのでしょうか。

○臼倉係長（事務局）

はい。県が研修を主催していますが、事前体験は任意となっています。

イベントの案内を都市ボランティアに通知して、参加できる方が参加することになります。

○秋元部会長

他に質問等ございますか。

なければ、皆様からいただいた意見は、今後の参考とすることとし、次回の支援部会では、機運醸成・文化教育部会と環境・美化部会で大会期間中のおもてなしを検討し、そのおもてなしイベントなどに必要な地元ボランティアについて、ボランティア部会で検討していくこととなります。

最後に議題の（４）「その他」について、オリンピック・パラリンピック室より説明をお願いします。

○臼倉係長（事務局）

次回の部会は、他部会の状況によるが6月下旬から7月上旬を予定しています。具体的な活動内容等について議論をいただきたいと思います。

続いて、オリンピック・パラリンピックポロシャツ販売の御案内をご覧ください。

この度、本市が射撃会場であることをPRするため、大会のエンブレムと朝霞市のキャッチフレーズ「むさしのフロントあさか」を入れた、アシックス社製のポロシャツを作成することになりました。

今回のポロシャツは、射撃会場市となる朝霞市のオリパラ関係者が着用することを大会組織委員会が認めたものになりますので、一般販売はありません。

先日、支援実行委員会でも、ご案内しましたが支援実行委員会の皆様、そして支援実行委員会の団体に所属されている皆様が、市のオリパラ関係者として購入することができますので、希望の方はお申込みください。期限は5月15日まで、受け渡しは6月下旬を予定しています。各団体の取りまとめを皆様をお願いする形になりますので、よろしくをお願いします。

なお、ポロシャツのサンプルをご用意しておりますのでご覧ください。

以上となります。

○秋元部会長

何か質問はありますか。

意見なし

では、閉会の時間となりましたので、なければ、これで第5回朝霞市オリンピック・パラリンピック競技大会支援部会ボランティア部会を閉会します。ありがとうございました。